

機械安全分野における雇入れ時教育の提案

～安全学講義の経験から～

機械システム安全研究グループ 上席研究員 濱島 京子

本講演では、学生や新入社員など、これから安全を学び始める人が、災害に至る過程を論理的に捉え対策や責務を考えるための「考え方」を紹介する。内容は機械安全分野のリスクアセスメント手法であるが、初心者向けに問題解決の方法論に則って手法を概説するものである。

問題解決の思考様式を研究する分野では、問題には構造があり、構造を変えることが問題解決である、とする。これにリスクアセスメントをあてはめれば、危険源の同定は問題の構造をとらえ、スリーステップメソッドは問題の構造を変え、リスクの見積り・評価は構造の良し悪しを判断するためのもの、という説明が可能となる。

労働災害という職場の問題を解決するためにリスクアセスメントが用いられる理由を、問題解決の枠組みから説明することで初心者の理解を促すことができる。